

抗議声明

広島市教育委員会による「はだしのゲン」を学校教材から 削除する決定に反対し、撤回を求める

2023年3月1日

核戦争に反対する医師の会（反核医師の会）

広島市教育委員会は、小中学校と高校で行っている「平和教育プログラム」について、漫画「はだしのゲン」の教材への掲載を取りやめて、別の内容に変更することを決めた。

この突然の決定に対し、広島県被爆者団体協議会を始め全国の団体、市民から抗議と撤回を求める声が広がっており、また報道各社にも取り上げられる事態となっている。

同市教育委員会は、削除の理由を「浪曲は児童の生活実態に合わない」、「主人公が置かれた状況などを補助的に説明する必要があるが生じる」などとしているが、当時の生活が今と違うことは当然であり、むしろそういった戦後の辛く苦しい時代背景も含めて事実を伝えていくことこそが、平和教育にとって重要である。

また「はだしのゲン」の全てが教材に取り上げられているわけではなく、どこを取り上げるかについての議論もない。

特に「はだしのゲン」は、漫画という形で子どもたちにも読みやすく、わかりやすい内容であり、当時の生活状況、被爆の実相を学ぶことができる良書として人々から愛されてきた。

長らく平和教材として採用されてきており、教材に取り上げられたことをきっかけに、全巻を読み、原爆の悲惨さをより深く理解してきた。

また、教材からの削除をいつどのように決めたのかが不透明であると広島市議からの指摘もあり、意思決定のプロセスにも疑問が残る。

市教育委員会は、削除方針は変えないと強硬な態度をとっているが、これだけの批判があっても尚頑なに削除しようとする姿勢は不誠実といえる。

広島・長崎への原爆投下から77年が経過し、「はだしのゲン」が伝える被爆の実相と継承の価値はますます大きなものとなっている。

我々は、核戦争を防止し、核兵器廃絶を求める医師・歯科医師として、広島市教育委員会による「はだしのゲン」を学校教材から削除する決定に反対し、撤回を求める。